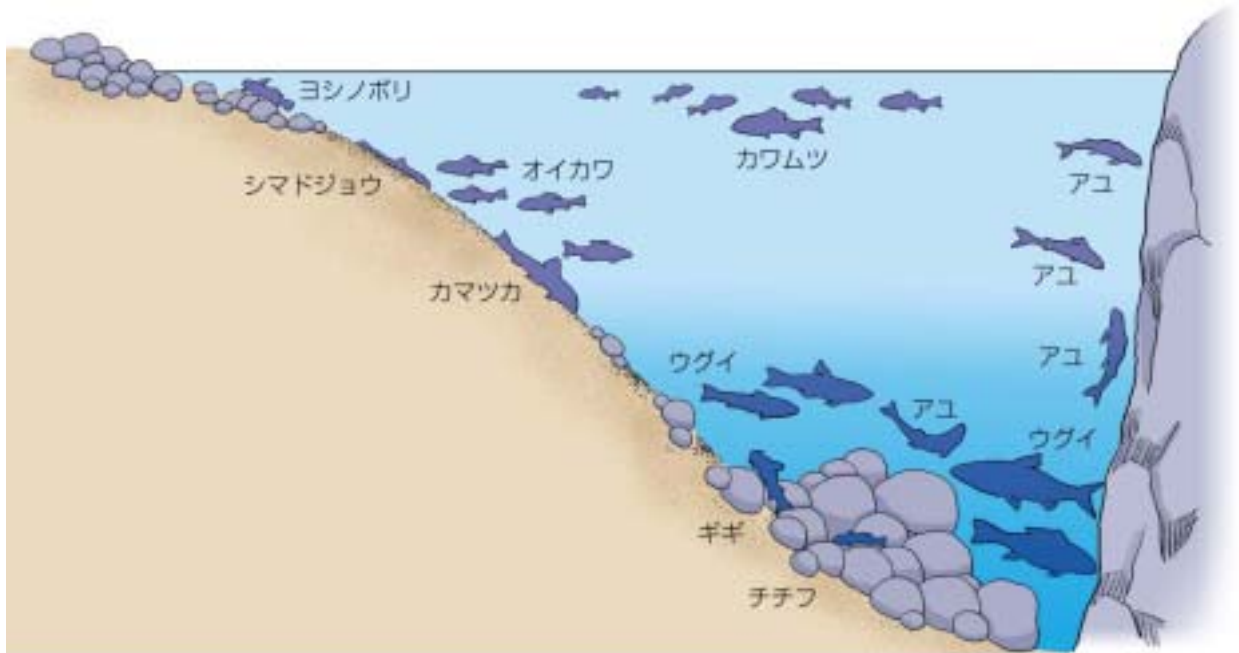


競争の結果決まる場合があります。

淵に見られる食べ物と生息場所との関係

吉野川ではありませんが、島根県高津川<sup>たかつ</sup>で、中流域の淵における魚類の垂直的な分布を調査した事例を紹介します。



(「川の生態学」築地書館)を基に作成

### 魚の空間分布例

落下動物を良く食べる雑食性のカワムツは、淵の表層にいて、落下昆虫を待ち受けています。アユは、岸よりの岩盤と淵底の大石の周辺にいて、岩盤や大石についている付着藻類を食べています。淵の堆積側の岸の中層から底層にかけて、付着藻類食に偏った雑食性のオイカワが遊泳しています。淵の最も深い部分には、底生動物食に偏った雑食性のウグイとコイが観察されます。底層魚では、岸から淵底にかけて、礫底にヨシノボリ、砂底にカマツカやギギ、岩や礫の間隙にはチチブが中心に分布しています。

先に紹介したように、この空間分布状況は、アユの密度等(例えば、水深や流速、底質、河畔林の状況、水温、濁り具合)の条件により変わります。